

## ◎ 領域統括の役割

- ✓ ターゲット領域の関連施策の連携促進
- ✓ 推進費を配分する対象施策を中心となって選定
- ✓ 毎年度の推進費の配分の審査を中心となって実施
- ✓ 対象施策の進捗状況及びSIP型マネジメントの実施状況のフォローアップ
- ✓ 対象施策のステージゲート方式による評価を中心となって実施

### ① 革新的サイバー空間基盤技術



**安西祐一郎**

日本学術振興会理事長

人工知能技術戦略会議  
議長

1971年 慶應義塾大学管理工学科助手

1988年 同大学理工学部教授

1993年 同大学理工学部長・理工学研究科  
委員長

2001年 同大学塾長（～2009年）

2011年 日本学術振興会理事長

### ② 革新的フィジカル空間基盤技術



**佐相秀幸**

(株)富士通研究所顧問

エレクトロニクス  
実装学会会長

1976年 富士通(株)入社

2007年 同社経営執行役

2013年 同社代表取締役副社長/  
CTO&CMO

2014年 (株)富士通研究所代表取締役社長

2017年 同社顧問

### ③ 革新的建設・インフラ維持管理 ／革新的防災・減災技術



**田代民治**

鹿島建設(株)

代表取締役副社長執行役員

前土木学会会長

1971年 鹿島建設(株)入社

2005年 同社執行役員東京土木支店長

2007年 同社常務執行役員土木管理本部長

2009年 同社取締役専務執行役員土木管理本部長

2010年 同社代表取締役副社長執行役員土木管理  
本部長

2011年 同社代表取締役副社長執行役員

# 官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)に係る対象施策候補の登録状況【アクション1】

- 内閣府として、平成30年度概算要求において、**官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)の推進に係る経費100億円(新規)**を要求。
- 平成30年度の創設に向け、準備を進めている3領域につき、8月末に**各省庁からの登録があった対象施策候補**は以下のとおり。
- **総合科学技術・イノベーション会議**として、現在、各省庁から提案のあった対象施策候補の選定を実施中。(11月頃CSTI決定予定)。**選定した対象施策**については、**予算編成過程において適切な予算措置が講じられるよう経済財政諮問会議、財務省等と連携**する。(「科学技術イノベーション総合戦略2017」(平成29年6月2日閣議決定))

NICT:情報通信研究機構(総務省)／NIMS:物質・材料研究機構(文科省)  
理研:理化学研究所(文科省)／防災研:防災科学技術研究所(文科省)  
NEDO:新エネルギー・産業技術総合開発機構(経産省)／土研:土木研究所(国交省)

## ① 革新的サイバー空間基盤技術 (AI/IoT/ビッグデータ)

(登録省庁: 総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省)

／ 施策総額: 100億円超規模 (主な施策の他、NICT:328億円・NEDO:73.5億円等の内数となる施策等の登録あり)

- 《主な施策》
- ・ 革新的AIネットワーク統合基盤技術の研究開発 《新規》 (7億円) [総務省]
  - ・ 未来社会を見据えた先端基盤技術の強化 (35.3億円の内数) [文部科学省]
  - ・ 新薬創出を加速する人工知能の開発 (2.86億円) [厚生労働省]
  - ・ ロボットとの共生社会を実現するためのインテリジェントダイナミックマップ開発 (73.5億円の内数) [経済産業省]

## ② 革新的フィジカル空間基盤技術 (センサ/アクチュエータ/処理デバイス/ロボティクス/光・量子)

(登録省庁: 総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、警察庁)

／ 施策総額: 100億円超規模 (主な施策の他、NICT:328億円・NIMS:55億円等の内数となる施策等の登録あり)

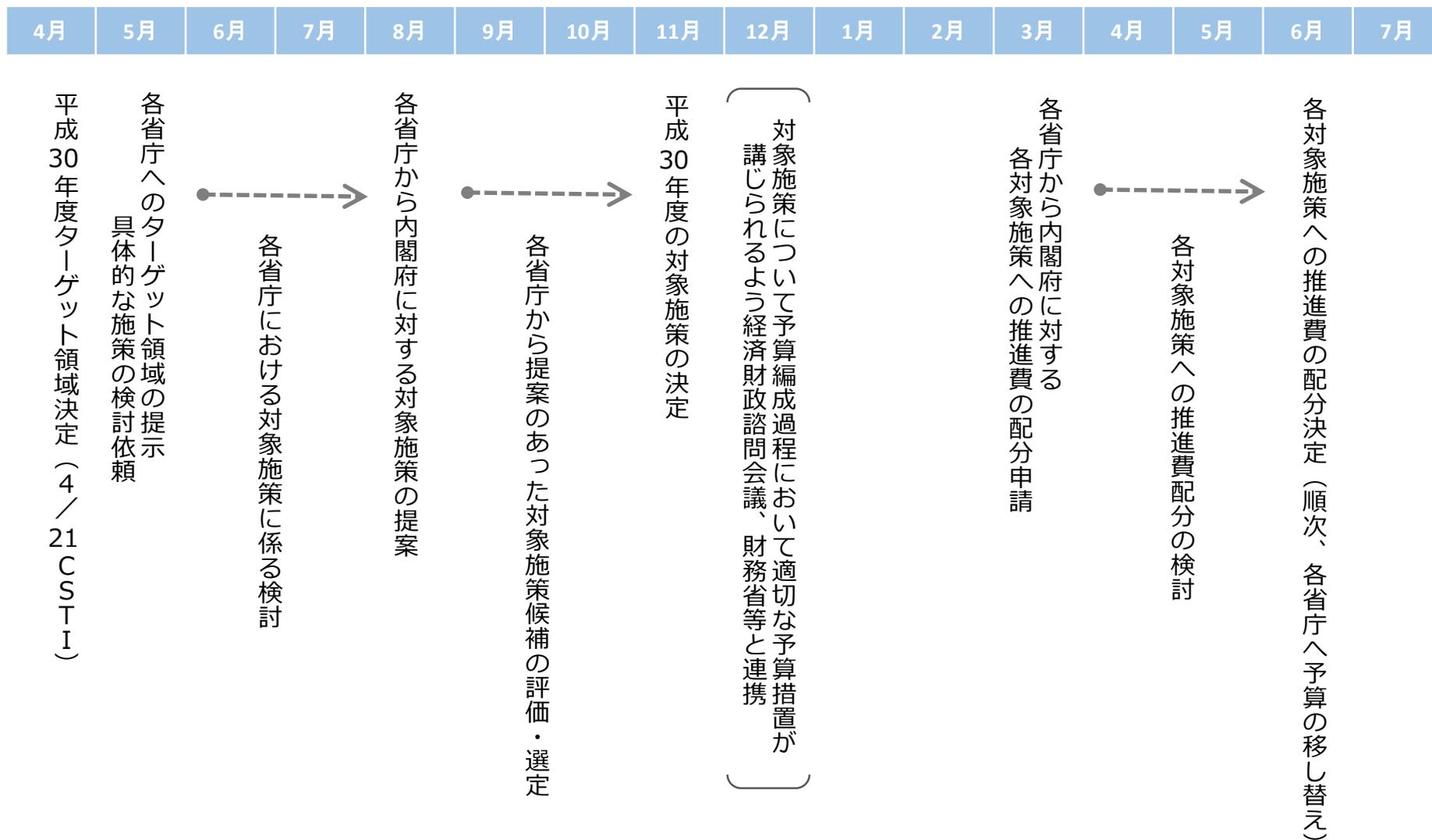
- 《主な施策》
- ・ 光・量子飛躍フラッグシッププログラム(Q-LEAP) 《新規》 (32億円) [文部科学省]
  - ・ AIチップ開発加速のためのイノベーション推進事業 《新規》 (26億円) [経済産業省]
  - ・ 小型無人機(ドローン)の検知に関する研究 (15百万円) [警察庁]

## ③ 革新的建設・インフラ維持管理技術 / 革新的防災・減災技術

(登録省庁: 総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省)

／ 施策総額: 100億円超規模 (主な施策の他、NICT:328億円・理研:624億円・防災研:91億円・土研:87億円等の内数となる施策等の登録あり)

- 《主な施策》
- ・ 首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト (10億円) [文部科学省]
  - ・ 豪雨に対応するためのほ場の排水・保水機能活用手法の開発 (46百万円) [農林水産省]
  - ・ 社会課題対応のためのインフラ維持管理・更新に関する共通基盤技術開発 (8.3億円の内数) [経済産業省]
  - ・ i-Constructionの推進による建設生産システムの生産性向上 (15.2億円) [国土交通省]



## 改革のポイント：国立大学・国研が「運営」から「経営」へ脱却

- 国立大学・国研は、公的資金による「運営」から民間資金も活用した戦略的な「**経営**」へと脱却
- 「経営」への脱却を促進し、知識・資金の「**好循環**」を回す**メイン・エンジン**となるための**制度的・法的基盤を構築**

### 財政基盤の強化

－ 評価性資産寄附の獲得促進 －

寄附を「**好循環**」を支える**元手**とすべく、寄附文化の醸成と寄附を行いやすい環境を構築  
⇒ **自助努力**を前提に、評価性資産（土地など）を寄附する際の譲渡所得の**非課税要件の緩和**など  
寄附の獲得促進等を通じて、**財政基盤強化を後押し**

### ベンチャー創出力の強化

**知識の「好循環」**を創り出すため、ベンチャーを活用し、より多くの研究成果を速やかに社会へ還元  
⇒ **国研が出資機能を拡充し、ベンチャーの起業を促進**

### ベンチャー成長力の強化

**資金の「好循環」**を創り出すため、ベンチャーの資金確保に株式等を活用  
⇒ **ベンチャーが株式等で支払い可能な対象を拡大**  
**資金確保を後押しし、株式等は戦略的に活用**

・ 知識と資金の好循環によるイノベーションの活性化

制度的・法的基盤

知の基盤

財政的基盤

・ エビデンスに基づく政策立案

科学技術イノベーションによる  
**600兆円経済の実現**

・ 官民研究開発投資の拡大  
・ CSTIによる各省施策の誘導